

## 2019年12月期第2四半期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社  
 代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 研三  
 問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 三宅 富士夫  
 : (TEL) (06) 7635-1624

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

	当第2四半期累計期間 (2019年1月～2019年6月)		前第2四半期累計期間 (2018年1月～2018年6月)		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	64,765	-	68,445	-	▲3,680	▲5.4%
営業利益	2,053	3.2%	2,069	3.0%	▲16	▲0.8%
経常利益	2,100	3.2%	2,193	3.2%	▲92	▲4.2%
四半期純利益	1,464	2.3%	1,563	2.3%	▲99	▲6.3%

(注) 当社の連結子会社は、可樂麗貿易(上海)有限公司の1社となっています。

## (2) 単体経営成績(累計)

	当第2四半期累計期間 (2019年1月～2019年6月)		前第2四半期累計期間 (2018年1月～2018年6月)		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	64,141	-	67,711	-	▲3,570	▲5.3%
営業利益	1,866	2.9%	1,833	2.7%	+32	+1.8%
経常利益	1,901	3.0%	1,922	2.8%	▲21	▲1.1%
四半期純利益	1,315	2.1%	1,361	2.0%	▲46	▲3.4%

## 2. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)の経営成績は、当社が注力するアジア市場において、樹脂・化学品・化成品関連が米中貿易摩擦等による中国の景気減速の影響を受けた結果、売上高は648億円(前年同期比▲37億円)、営業利益は20.5億円(同▲0.2億円)と前年同期比減収・利益は横ばいとなりました。

このような環境の下で、クラレグループの中期経営計画『PROUD 2020』における当社の戦略である「アジアでの業容拡大」「繊維事業の収益拡大」を推進しました。

セグメント別は以下の通りです。

### 【繊維関連】（減収・増益）

売上高 2 2 2 億 5 千万円。前年同期比 2 億 7 千 4 百万円（1.2%）の減収。

#### （衣料分野）

- 全般的には、原糸や生地販売が利益面で苦戦しましたが、ベトナムでの縫製を中心とした製品販売が拡大し、増収増益となりました。
- スポーツ分野は、主要取引先との取組み推進により、テキスタイル・縫製品とも順調に推移し増収となりました。
- ユニフォーム分野は、ワーキングウェアは堅調に推移しましたが、企業別注向け及びサービス用途が伸び悩み、ほぼ前年並みとなりました。
- ファッション分野は、婦人衣料及び中東向けが市況低迷の影響を受け、減収となりました。
- 原糸販売では、海外向けの高機能原糸の販売は拡大しましたが、その他用途が低迷し、全体ではほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、衣料分野は増収・増益となりました。

#### （資材分野）

- 生活資材は、タオル用途は拡大しましたが、自動車分野の販売不振により、減収となりました。
- 産業資材は、ビニロンを中心に堅調に推移し、増収となりました。
- 人工皮革<クラリーノ>は、靴資材の市況低迷と競合激化等により、減収となりました。

以上の結果、資材分野は減収・減益となりました。

### 【樹脂・化学品・化成品関連】（減収・減益）

売上高 4 2 5 億 1 千万円。前年同期比 3 4 億 7 百万円（7.4%）の減収。

- 米中貿易摩擦等による中国の景気減速の影響を大きく受けました。

## （2）2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

通期の業績予想については、年初来の米中貿易摩擦等による中国の景気減速の影響等を踏まえ、以下の通り修正します。

（億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
年初公表 (2019年2月14日)	1,450	45	45	30
今回公表	1,400	45	45	30

<注記>上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上